

## 中野市行政改革推進委員会 会議録

日 時	令和2年7月28日（火） 14：00～15：36
会 場	市役所本庁舎 会議室52.53
出席者	<p>【委員】 外谷博美、工藤二六子、小林ひとみ、岩渕裕泰、藤巻清一、市川真一、池田眞貴子、小林日出夫、野口暢子、市村義明、中村幹夫、富田貴江、翠川妙子</p> <p>【市】 市長、副市長、総務部長、健康福祉部長、子ども部長、くらしと文化部長、経済部長、建設水道部長、消防部長、議会事務局長、学校給食センター所長(教育次長代理)</p> <p>【事務局】 政策情報課長、行政管理係長、堀米副主幹、村上主事</p>
欠席者	【市】 会計管理者、教育次長
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会（13名中13名出席、過半数の出席者有りのため会議成立）</li> <li>2 市長あいさつ</li> <li>3 会長の互選について</li> <li>4 協議事項 (1) 第3次中野市行政改革集中改革プランの令和元年度実績報告書について</li> <li>5 その他</li> <li>6 閉会</li> </ol>
資料	<p>資料1 中野市行政改革推進委員会条例、委員名簿</p> <p>資料2 第3次中野市行政改革集中改革プラン進捗管理シート (令和元年度実績報告書)</p>

1 開会 (総務部長)

2 市長あいさつ

3 会長の互選について (仮議長：工藤副会長)

会長に中野市区長会の外谷博美委員が互選される。

4 協議事項 (議長：外谷会長)

(1) 第3次中野市行政改革集中改革プランの令和元年度実績報告書について

【事務局】

(資料2を政策情報課長より説明)

資料2 第3次中野市行政改革集中改革プランの令和元年度実績報告書

質問、意見等

【委員】

23ページ「No.29 屋内ゲートボール場(東山)の解体」について、旧小学校の体育館など代替施設の検討をお願いしたい。

【健康福祉部長】

屋内ゲートボール場の解体後の屋内運動場について旧長丘小学校等を希望かと思うが、小学校の跡地利用の検討が今回のコロナの影響で実施されていない。まだ決定はしていないが、今後継続的に検討していきたい。

昨年、ゲートボール連盟の方と何回か話し合いをさせていただき、冬期間の代替施設として西部公民館や浜津ヶ池の屋内運動場をグランセローズさんが使っていない時間帯に使っていただくなど工夫をさせていただいた。この春も、ゲートボール連盟の方と話し合いの予定があったが、コロナの感染が拡大していることから話し合いができていない。今後は連盟の方と話し合いをしながらより良い方向について検討していきたい。

【委員】

考えていただきたいのは、車の運転ができない方が大勢いる。そのようなことも加味してゲートボール場の場所などを検討していただきたい。

【委員】

31ページ「No.45 保育所の整備」について、松川保育園の建て替え等について計画が決定されているのであれば教えてほしい。

**【子ども部長】**

松川保育園が非常に古いということで、市内には築40年を超えている保育園が他にもいくつかある。昨年度、中野市あり方検討懇話会を立ち上げたが、コロナの関係で会議ができなかった。7月から再開し月1回程度の会議を設けて話し合っている最中である。そのため、松川保育園がいつ建て替えなのかはお答えできないが、中野市全体をみながら現在検討をしている。

**【委員】**

16ページ「No.14 市民満足度調査の推進」について、今年度目標値である市民満足度80%に届かないのではないかと、満足度44.1%から74.6%に上がってきたというのはすごく大きな業績だと思うが、今年度の見込みを教えてください。

**【政策情報課長】**

調査票を発送して回収している最中である。今年度の結果についてはこれからといった状況である。満足度の向上ということで、いろんな取組をしているが、1つの施策をうったから何かが起こるということではないと思っている。市民の方の全体の捉え方というように考えている。指標も成果の1つではあるがこの指標によって一喜一憂ということではないと認識している。

**【委員】**

中野市の行政改革で苦勞しているのは、「C. 公共施設の最適化」の部分ではないかと思うが、今年度中に完了の見込みがあったが、社会経済情勢の変化等により完了が難しいということについてすでに方針変更などがなされているものがあれば教えてください。

**【政策情報課長】**

今回お配りしている資料を見ていただくと、完了しているプランが相当数あるが、課題として残っているプランも多数ある。国の指導により公共施設総合管理計画が策定されてから今年度で中間年となり見直しをすることになっているが、その前に国から今年度中に個別施設計画を策定するようにと指導がきている。それに向けて検討しているところである。中には当初の計画から事情が変わったものもあるが、全体の見直しをする中で今後計画を策定していきたいと思っている。

**【委員】**

「C. 公共施設の最適化」の令和2年度中の完了のプランについて、コロナ等の影響により延びるということはあるか。

**【政策情報課長】**

令和2年度が最終年度となっているため、計画期間が完了するという意味での完了も含まれている。完了することが確定しているというものではない。

**【委員】**

確定しているプランはあるか。

**【政策情報課長】**

それぞれの事業ごとに異なっているため、今年度の取組実績の記載内容をご覧いただきたい。

32ページ「No.46 小学校の跡地利用」について、令和2年完了となっているが、このような状況のため現時点では難しいと思っている。それぞれ担当課で記載している完了という意味が異なっているが、この欄については目標年度を設定しているものである。

**【委員】**

32ページ「プラン46 小学校の跡地利用」について、昨年7月29日にこの会議があったと思うが、令和元年8月に市民からアイデアを募集し、10月にサウンディング市場調査を行ない、1月か2月にそれをまとめた説明会を行うと言われたと思うが、それは開催されたか。

**【政策情報課長】**

サウンディングの結果について、市の公式ホームページに結果を掲載している。説明会については方針を決定したうえで説明会を開催するとお話ししたかと思う。現時点でそれぞれの学校の利活用方針について決定されていないため大変申し訳ないが説明会の時期についてはまだ決定されていない状況である。

**【委員】**

たしかその話をされた時に副市長から、とりあえずお話しをするという約束をしてあるため何らかの形をまず皆さんに提示してからいろんな意見を聞きたいと言われた気がするが、それには早く提示して、市民とのやりとりの議論があってもいいのではと思っていたが、どのようなお考えがあるか聞きたい。

**【副市長】**

先ほど課長からお話ししたように、何も決定していない中で議論することは大変ではないかということで、その先進んでいないという状況である。

**【委員】**

私ども小さな拠点というものを設置していただき、いろんな検討をさせていただいている。その中でどのような考えを市で持っているか、現在の状況を教えてほしい。

**【政策情報課長】**

現状について、トライアルサウンディングを計画し、昨年度末の時点で議会に説明させていただき来年度に向けて準備をするという説明をしていたが、コロナの関係で外部から人を呼び込むということが困難な状況になっており現状できていないため、その部分については今後の状況をみながらというふうに考えている。昨年度実施したサウンディングの結果については、ホームページに掲載しているが、学校の利活用についてお示しできる状況にはない。

**【会長】**

いずれにしても、コロナの影響がでてしまいスムーズな会議等の運営ができていないため、日程的なものについては順次進めていただきたい。

**【委員】**

トライアルサウンディングとは。

**【政策情報課長】**

昨年度須坂市が実施しているが、トライアルという言葉のとおり実際に試しにやってみるというサウンディング手法である。須坂市が実施したのは、臥竜公園の施設内での販売等について実際にお店をやって事業提案をいただくという取り組みをされていた。学校について、現時点ではまだどういう形で実施をするか未定であるが、そのような形で実際に施設を利用してもらいながら活用について民間提案を受けるというものである。

**【委員】**

いろいろな情報を市民に絶えず与えてほしい。

**【政策情報課長】**

そのようなことに配慮して進めていきたい。

**【委員】**

小さな拠点とは。

**【政策情報課長】**

小さな拠点の取り組みについては、地域振興課で事務局になり豊田地域の皆さんと話し合いを進めているところである。学校の利活用についても議論されているかと思うが、現時点で学校の利活用についての決定はされていない。

※中山間地域等での持続可能な地域づくりを目指すため、住民が主体となって「小さな拠点」づくりを進めている。少子高齢化や人口減少などにより日常生活に支障を来す諸課題や解決策などについて話し合いを進めている。

**【委員】**

33ページ「プラン47 働きやすい職場環境づくり」について、正規職員の有給休暇の取得率は。

**【総務部長】**

平成31年1月1日から12月31日までに取得した日数でいうと平均10.00日である。

**【委員】**

年休の日数が問題であって、年休を全て使いきっているのか、年休が20日あるところ10日しか使っていないということであれば問題ではないかと思っている。

**【総務部長】**

正規職員については年間20日の有給休暇の取得を付与しているところである。1年間持ち越しができるため、新規採用や中途採用以外の職員であれば一人最大で40日の有給休暇の取得が可能である。

**【委員】**

全員が取得できる年休日数を使い切ることができる体制が必要かと思う。

**【委員】**

34ページ「プラン48 一般職非常勤職員(会計年度任用職員)の適正配置」について、災害等に備えて正規職員を増やしてほしい。

13ページ「プラン11 有料広告の推進(ホームページ、広報等)」について、広告以外にも例えば一本木公園の展示室で物を販売するなど、他に収入を得られる方法を考えてもらいたい。

**【委員】**

34ページ「プラン48 一般職非常勤職員(会計年度任用職員)の適正配置」の反省・課

題・改善点等について、引き続き、施設の集約化・統廃合等の検討を進めていくとあるが、施設の延床面積を20パーセント削減という目標は達成されているのか。

**【政策情報課長】**

個別施設計画を今年度策定することになっているが、現在取り組んでいる状況であり、今年度20パーセントを達成したという状況に現時点では至っていない。

**【委員】**

現時点で何パーセントくらい達成されているのか。

**【政策情報課長】**

現時点で全体の4.75パーセントである。学校の部分が確定していないことから達成率が低くなっているのが実態である。これも含めて今年度計画を立てる中で出来るだけ積み上げていきたいと思っている。

**【委員】**

小学校が入れば20パーセント削減になるのか。

**【政策情報課長】**

今年度末までで5校の小学校が廃校となる。それを足しても20パーセントには届かない。それ以上に積み上げて行かなければならない。

昨年度、全部の建物のデータについてシステムを導入して今後の面積をどう縮減していくかというためのシステムを構築した。その中でさらに細かな積み上げができるように今後検討していきたい。

**【委員】**

以前延床面積20パーセントだけでは足りないのではないかと質問したところ、当時の総務部長は人件費で9パーセントプラスされるという説明だったが、できればもっとスムーズに進めてもらいたい。

**【政策情報課長】**

面積の削減だけでは今後の財政状況等のシュミレーションに合わないという説明をしていると思う。その部分は当然加味しないと将来的な負担増には対応できないということは把握している。そのようなことを踏まえながら進めていきたい。

**【委員】**

29ページ「プラン42-2 旧中野高校南校舎の利活用」と30ページ「プラン42-3 旧中

野高校東側駐車場の利活用(新市民会館整備)」について、旧中野高校の維持費は年間どのくらいかかっているか。

**【政策情報課長】**

駐車場だけの維持費は把握していない。

南校舎のほかに周辺の植栽等の維持管理をシルバー人材センター等に依頼して管理してもらっている。それと、建物のセキュリティーの管理でセコムをいれているため、そのような経費でかかっているものはある。

**【委員】**

建物がある以上は、維持管理ということで経費がかかっている。これは税金である。市民に対して具体的な利活用方法について、早急に説明できるように進めてもらいたい。

**【委員】**

32ページ「プラン46 小学校の跡地利用」について、避難所についてどのように考えているか。

**【総務部長】**

利活用の方針が決定されるまでは、避難所等として活用していく予定である。

**【委員】**

跡地利用という利活用方法のことだけが進んでしまっている。いざ災害があったときのことを考え、避難所をどこに確保するのか先に示してもらわないと市民はみんな不安に思う。まず、避難所の確保について先に示してほしい。

**【総務部長】**

これからどういったところを避難所として利用できるのかも含め検討させていただきたい。

**【委員】**

廃校活用に関しまして、地域の皆さんいろんなご心配をされているというのが今日のお話だけでもよくわかる。空き家も同じことで暫定的な使い方も考えてみてはいいのではないかと。最終的にはそこに業者が入って何かしらお任せして運営できるという形がいいのではないかと。たとえば体育館は地域の方々の運動の場所として利用する、調理室は料理教室のようなものに地域で利用する。また長野でもマグロの養殖は可能であり廃校のプールはマグロの養殖の適地であると教えていただいた。5つもプールがあるのならそれを活用して農業ではなく農魚の町になるのではないかと。地域のために活

用をしながら募集していくという方向に少しゆっくり考えていかないとコロナ時代には難しいかなと感じている。そのうちの1つとしてうちの大学も、ソーシャルディスタンスを取って授業をするのは不可能。またZOOM授業が続くのかという状況の中、中野の廃校は長野県立大学にとっても魅力的な候補の1つなのではないかと思うようになった。このような話を教職員の中でもしていきたいと思っている。また経営者のトップの方々もそのような方向性で話をしていただけるといいなと個人的に思っている。急いで全部の利活用の方向決定をするのではなく、地域にとって必要な機能は残しつつ、ゆっくりと合意形成しながらやっていけるといいのではと思う。

#### 【委員】

豊田子育て支援センターの調理室を料理教室として利用申込みをしたが、規則で貸出しができないと言われた。施設を利用できる基準をもっと広げてほしい。

#### 【副市長】

調理室の利用については、団体自身が利益団体であれば何か方法があると思うので、地域振興課から詳細についてお聞かせいただく機会を作りたい。

#### (検討結果)

令和2年8月18日に地域振興課、健康づくり課、子育て課で協議。

豊田子育て支援センターの調理室については、貸館施設ではないため貸出しはできないが、代わりに豊田人権センターの調理室は貸館施設のため貸出しはできる。

将来的には、貸館施設として使用できるよう検討をすすめていく。

豊田子育て支援センター調理室については、子育て課が管理しているため、子育て課で富田委員に連絡することとなった。

#### 【委員】

旧小学校の利活用の検討をしているが、避難所についてもっと考えていただきたい。

#### 【副市長】

学校の統廃合の結果、旧小学校の利活用について検討しているが、現時点では今までどおり避難所として利用は可能である。ただ、コロナのことがでてきたため、今まで想定をしている収容人数の3分の1程度になってしまう。

この議会で、テントのようなものを用意するように議決をいただいて、今発注をしているところである。避難所としては今までどおりしばらくは使えるが、その学校を他の用途に使うとなれば、避難所についてもきちんと決めてから方向転換をさせていただくのでご理解願いたい。

**【委員】**

台風19号で市道大俣線の上今井の農地側の高見澤の農道の排水路がつまってしまったが未だにとってももらえない。排水路の確保をお願いしたい。

**【副市長】**

台風19号後の復興については市内の全業者にやっていただいたため、不慣れなところもあったかと思うので、個別の案件として地域振興課へ相談願いたい。

(検討結果)

令和2年8月26日現在、地域振興課で現場を確認し解消済。

**5 その他**

**【事務局】**

今後のスケジュールについて

第3次中野市行政改革集中改革プラン進捗管理シートについて、本日いただき意見等を踏まえ、事務局で調整を図ったうえで、市公式ホームページにて公表していく。

次回の推進委員会について、令和2年度集中改革プランの中間点検を11月頃に開催する予定。

また、今年度で計画期間が満了となる。来年度以降の取り組みについて検討することとしているのであらかじめご了解をお願いしたい。

**市政運営等に対する質問**

**【委員】**

70才以上に配布されているシルバー乗車券と温泉利用券について、利用率はどれくらいか。

**【健康福祉部長】**

手元に資料がないため、のちほどお答えしたい。

回答：シルバー乗車券・温泉利用券(共通券)給付事業の利用実績は、令和元年度は59.1パーセント。

意見等：利用率が低いので、内容を検討したほうが良いのではないか。

回答：利用内容を精査し検討する。

**【委員】**

中野市の通院費等の助成券について、枚数が多く無駄ではないかという意見があったため、その利用状況も把握してもらって、なるべく効率のよいお金の使い方をしてもら

いたい。

**【健康福祉部長】**

のちほど利用率をお答えし、ご意見として承りたい。

回答：高齢者世帯通院費等助成事業の利用率は39.6パーセント

**【委員】**

老人会からの要望で、市で開催する審議会やイベントについて地元の公会堂でオンラインで見ることができるような形を考えてもらいたい。

**【会長】**

この件については、またご検討いただくということをお願いしたい。

**【委員】**

市のごみ袋について、ゴミ出しに行くとき手を下してしまうと引きずってしまい不便に感じている。他の市町村で縦横比が横に広がったゴミ袋があると聞き、そのよう形状のごみ袋が可能であれば便利だと感じているため、機会があったら検討していただきたい。

**【くらしと文化部長】**

研究してみたいと思う。

**【副会長】**

市民会館が2021年6月から2022年4月まで休館となるが、消費者の会で月1回市民会館の会議室を借りて廃油を利用した手作り石鹼を作っているが、市民会館の外に水道がなく不便に感じているため、会館改修の時は外にも水道を設置してもらいたい。

**【くらしと文化部長】**

市民会館について、現在設計段階に入っているが、今いただいたご意見等を盛り込んで考えていきたい。

**【副会長】**

マイナンバーの活用について、実際に活用するところがないと感じているが市としてどのような活用があるのか、今後の事も踏まえて教えてほしい。

**【くらしと文化部長】**

マイナンバーの活用ですが、マイナポータルというキャッシュレスのポイント制度を国でPRしているが、マイナンバーカードを利用するとコンビニ等でも住民票がとれるということもありそのような利便性のあるものについてPRをしていきたい。

**【副会長】**

新しい試みである介護支援ボランティアのポイント制度について、高齢者等の介護施設を中心にボランティアが関係してくるような内容だったが、介護ボランティアが少なくなってきた中で大変励みになり、介護職員も苦勞しているためうまく対応できるような橋渡しをしていただきたい。共に成功できるような方向付けで協力していきたいと思っている。

**【健康福祉部長】**

介護ボランティアについて、今回は社会福祉協議会に登録されているボランティア協議会の方に通知をさせてもらった。ボランティアをまだやったことがない方にもぜひ参加していただきたいと思い周知をさせてもらっている。

受入れの施設とやっていただく方の橋渡しとして、市でボランティアの受け入れの内容などについて集約し実施していきたいと思っているため、大勢の皆様に参加していただきたい。

**【副会長】**

コロナの影響で各会場が使用出来ない状況だが、事業内容等に応じてどのような形でお借りできるか、市の考えをお聞かせ願いたい。

**【くらしと文化部長】**

イベント事業の会場使用等について、収容人員の50パーセントを上限などいろんな制約がついているが、現在コロナの感染が拡大しているということもあるが、なるだけ使用できるような形で施設は運営している。今後については状況に応じて制約がでてくる可能性があるが統一的な考えでやっていきたい。

**6 閉会 （外谷会長）**

終了 15時36分